



分科会 7 広がる学校薬剤師の職能

10月7日(日) 15:00～17:30 第9会場(オークラアクトシティホテル浜松 3F チェルシーⅡ)

W-07-04

「くすり教育」への関わり方

とみなが 孝治
富永 孝治
有限会社 とみなが

平成24年4月より学校での「くすり教育」が始まった。今すでに、中学校や高校では新学習指導要領の施行に伴い、保健体育での医薬品適正使用に関する授業が開始されている。このくすり教育が実施されるに至った背景として、まず平成12年にWHOがセルフメディケーションを定義し、推進したことが挙げられる。この流れを受けて日本でも、厚生労働省から「医薬品の販売の在り方全般を見直し、学校教育における啓発が必要である」との言及があり、中教審からは「医薬品の知識を小中学生が持つべきである」との答申があったことから、平成21年6月改正薬事法施行に併せて、学校におけるくすり教育が実施されることとなった。具体的には、中学校では平成21年からの先行実施を経て24年全面实施、高校では21年周知・徹底、22年から先行実施、25年全面实施となっている。私たち学校薬剤師は、このくすり教育にどう関わるべきだろうか。まず薬剤師として、私たちは何ができるのかを考えてみる。前述の通り、このくすり教育はセルフメディケーションの推進という観点から始まるものである。一方、薬剤師は日々の業務として、保健・医療・福祉の情報発信基地である薬局で、患者さんに対し薬の適切な使用方法・服薬状況の確認を行い、薬の副作用・相互作用のチェックと共に健康相談や介護相談も行っている。そもそもセルフメディケーションとは「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」とWHOで定義されている。つまり薬剤師の日々の業務は、セルフメディケーションの推進そのものである。そこで私たちは、セルフメディケーションを支える唯一の国家資格が薬剤師であることについてもっと自覚を持つべきだと考える。では、学校薬剤師として私たちは何ができるのか。学校薬剤師が行うくすり教育も、日々の業務の延長線上にあると考えると、よりとらえやすい。学校薬剤師は子供の時から生涯を通じた健康であるための教育をサポートする役割を担っている。平成19年に、文部科学省は、新しい指導要領を「ゆとり教育」や「詰め込み教育」ではなく、「生きる力をはぐくむ教育」とし、基礎的な知識や技能の習得と思考力、判断力、表現力の育成を強調した。これを受けて現在の新しい学習指導要領には、発達段階ごとに積み上げてゆく方向性が示されている。つまり学校薬剤師は、薬剤師としての専門的知識と経験をふまえて、新学習指導要領に示されている生徒の発達段階（小中高）にあわせて、保健体育の授業で助言することが求められる。新学習指導要領・解説を見ると、例えば、小学校では体育の授業の中で、心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解をすること、その上で運動に親しむ資質や能力、楽しく明るい生活を営む態度を育てることを目標とし、病気に負けない心と体づくりを教える。そして中学校で、初めて医薬品の適正使用の大切さを教える。薬とは私たちが健康で幸福な人生を送っていく上で欠かすことのできないアイテムであるが、私たち薬の専門家の意見をよく聞いて薬を正しく使用することで安全にその効果が期待できると伝える。更に高校では、医薬品の開発やリスク分類、医療制度や医療機関の利用に至るまでの教育を行い、生涯を通じた健康のための基礎を構築することを目標とする。このように学校でのくすり教育を行うには、まず子供たちの発達段階とその特徴を理解し、新学習指導要領・解説に基づいた指導の下で薬の専門家としてのサポートが必要となる。また、今後は、「くすり」と「薬物」を区別して伝えなければならない。これまでは薬物乱用防止教育の講演で「くすりの正しい使い方」について一部触れていたが、健康を阻害する要因である「薬物」と、健康のために使用する「くすり」は全く別ものである。子供たちが混同しないように、完全に分離して話すべきである。近年、子どもたちを取り巻く社会的環境は大きく変化しており、学校薬剤師には学校環境衛生に関する業務に限らず、健康相談や保健指導といった健康教育にも積極的な参加を求められることが多くなった。これからの学校薬剤師に期待される役割は、学校環境衛生検査、健康相談・保健指導、薬物乱用防止教育、飲酒・喫煙防止活動、ドーピング防止活動、医薬品適正使用教育、薬害防止教育等、と多岐にわたっている。これらの活動は学校関係者と連携し、学校薬剤師の立場で適切に行うことによって児童生徒等が将来に亘って自らの手で健康が守れるようにお手伝いしたい。これからの学校薬剤師は、子ども達が生涯を通じて健康で幸福な人生を送れるように、薬剤師職能のすべてを以て、学校におけるくすり教育の推進に当たる時が来ている。